

第9回 村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議 会議録

日 時	令和3年5月17日(火) 午後3時～午後5時
場 所	東海村役場 行政棟 原子力視察研修室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・各村立幼稚園職員(8名) ・村立保育所及びこども園職員(5名) ・幼稚園長, 保育所長等(4名) ・子育て支援課(4名)
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 子育て支援課長挨拶 3. 教育長挨拶 4. グループワーク 「統合後の新たな村松幼稚園での『目指す幼児像』について」 5. 閉会

1. 開会

2. 子育て支援課長挨拶

- ・今回の「統合後の新たな村松幼稚園での『目指す幼児像』について」というテーマに対して出される意見を踏まえて、これからの村立幼稚園の教育方針や教育目標について協議を進めていく予定となっている。
- ・今回は具体的な協議に携わる幼稚園長, 保育所長などにも来てもらっているが、グループワークの様子を見ていただき、協議で出た意見を今後の参考としてほしい。

3. 教育長挨拶

- ・幼稚園の再編について前教育長から話を聞き、地域に根付いた幼稚園の統合は、保護者や地域の方々にもそれぞれの思いがあり、難しいのではないかという思いを抱いた。しかし、村立幼稚園に入園する子どもの数の減少状況や、幼稚園の施設の老朽化を改善するための費用など、様々な課題を総合的に考えると、子どもたちが学ぶ環境を整えるという意味でも、適正な規模の人数を確保することや、一か所に統合しながらも、そこで教育を受ける環境づくりを進めていくことを優先すべきという考えに至った。
- ・再編整備は村の大きな事業であり、今後も行政に関わる職員の一員として、新しい幼稚園をつくるという思いで、気持ちをしっかり持ってもらいたい。
- ・幼稚園教諭や保育士の皆さんは、保護者や地域の方々と関わる中で、いろいろな意見を聞くと思うが、ご意見は受け止めながら、新しい幼稚園づくりに向けての希望や、新たな幼稚園で活躍する先生方の思いなどを話してほしい。
- ・これまでの取組みや内容などに縛られず、どのような幼稚園であるべきか、あるいはどのような園児像で、新しい幼稚園づくりを進めていくかを考えてほしい。

- ・今後は外部有識者を招くことも考えているので、意見をいただきながら、新しい幼稚園の創造に向けて参考となるような機会も作っていきたいと考えている。
- ・それぞれの幼稚園で取り組んできた良いところを継承していくことも必要だが、どのようにして新しい幼稚園で継承していけるのか、幼稚園の卒園者だけでなく保育所の卒所者も含めて小学校へ繋いでいくためにどのように繋いでいくか、ということを考えてもらいたい。いわゆる「こども園・保育所・幼稚園から小学校・中学校へ」と、長いスパンで東海村の子どもたちを育てていくという視点が重要だと思うので、ワーキング・チーム会議だけでなく、小学校や中学校との情報交換や話し合いの必要があれば、そのような機会を持っていきたい。

4. グループワーク

「統合後の新たな村松幼稚園での『目指す幼児像』について」

- ・グループワーク形式で意見出しを行った。
- ・グループワークで出された意見については、別添「第9回村立幼稚園職員等ワーキング・チーム会議意見出しのまとめ」のとおり。

<意見等>

- ・未来に向けた言葉が入っているのは良い。
- ・目指す園児像として入れるのは難しい言葉でも、その内容的な部分に入れることができると良いのではないか。
- ・今は Zoom など離れた場所でも顔が見えるようなコミュニケーションツールができています。目の前にいるかのような映像でコミュニケーションが図れるとしたらどこにも行く必要がなくなり、これからは世界が近くなる時代が来ると聞いた。これまでの暗記型のような教育ではなく、何かを作り出したり、新しい技術をどう使ったりしていくかといったことが重視される。幼児教育は毎日が創造の連続であり、「意味合いを持って幼児教育に当たっているかどうか、意識した教育をするように」と研修で話があった。
- ・「愛村心」という言葉は良い。
- ・これから1園になるのであれば、特別支援も含めて「公立ならでは」という考えは大事だと思う。
- ・特別支援の充実という話が出たが、支援を要する子に限らず、問題を抱えている家庭の子なども、これからは公立が受け皿となるべき。私たちもどのように対応したら良いのか、今までも悩みながらやってきているが、これからさらに検討が必要になってくるのではないか。
- ・言語聴覚士などの専門家には、助けられているところも多い。専門家との連携も、公立ならではの取組みとして強化し、一緒にやっていると、先生も安心して幼児教育に臨めるのではないか。

<幼稚園長、保育所長等より>

- ・子どもたちの様子をたくさん見ている現場の先生たちの意見を尊重して盛り込んでいくことで、新たな公立幼稚園の姿がしっかり見えてくるのではないかと思う。
- ・今後、目指す園児像や教育目標について、何を根拠に決めたのか、保護者にとっても、先生にとっても分かりやすいものになると良い。
- ・教育目標となる抽象的な言葉に込められる具体的な意味を全員が理解して、同じ気持ちに揃って令和6年度からスタートできると良い。

<教育長より>

- ・他の市町村で同様に幼稚園の再編に関わったことがあったが、卒園後に保護者から「大きな集団で学ばせることができ、様々な経験することで視野が広がって良かった。」という声もいただいた。村全体で、村の子どもたちを育て上げていくという視点で考えていってほしい。

<まとめ>

- ・幼稚園主任会で、今後検討が必要な事項について項目出しを行った。内容については整理中だが、まとめ次第、正職員・会計年度任用職員を問わず、協議への参加意向調査を行う。

5. 閉会

テーマ：統合後の新たな村松幼稚園での『目指す幼児像』について（Aグループ）

心の育ち

体の育ち

思いやり

- 思いやりのある子
- 助け合い
- 人に優しくできる
- 友達を大事にする子
- 友達の思いや考えに気付ける子

自己肯定感

- 自己肯定感がある
- 自分が好き
人が好き

非認知能力

- 繰り返し挑戦する意欲のある子
- 苦手なことに挑戦する子
- 進んで挑戦する子
- 好奇心旺盛な子
- 価値観を大切にできる
(各々の考え方を尊重できる)
- 希望のある子
- 未来を創る力**
- 最後まで頑張れる子
- 忍耐力(諦めない気持ち)がある子
- 逆境に強い子
(レジリエンスが育まれている)

協同性

- 仲間と協力できる子

言葉による伝え合い

- 自分の思いを伝えられる子

豊かな表現や感性

- 表現力が豊かな子

健康な心と体

- 心も体も元気(丈夫)な子
- 進んで運動する子
- 元気な子
- 元気いっぱい遊ぶ子

社会生活との関わり

- 文化を大切にする力
(日本の伝統・季節行事等の由来に興味・関心を持つ)
- 愛村心(故郷)を持つ子

自立心

- 自分で考え行動する子
- のびのびと自分を出して遊べる子
- 自分のことを自分でやろうとする子

道徳性・規範意識の芽生え

- あいさつができる
- 規範意識のある子
 - ▶ 順番を守る
 - ▶ 出したら片づける
 - ▶ 人が嫌がることをしない
 - ▶ 人の話を静かに聞く 等

自然

- 自然との関わりを楽しめる子

その他

- 子どもにも分かる幼児像
- 村松の地域らしさが出るもの
- 分かりやすい語呂
- Society5.0に対応していける力を育む

テーマ：統合後の新たな村松幼稚園での『目指す幼児像』について（Bグループ）

